

## 『くすりの歴史』

薬剤師 篠原 幸雄

「20世紀中で最も人々を幸せにしたものは何か」というアンケートの1番に抗生物質があげられていました。人類の歴史は病気やケガとの長い戦いであったと思います。稲作が始まり定住して生活する様になるまで、私たちの祖先は野山に出て食べられる物を見つけ命をつないでいくなかで草根木皮や鉱物など薬になるものを見つけました。19世紀初頭、コーヒーからカフェイン、アヘンからモルヒネなどいろいろな植物からその有効成分が見つかり、それらの成分をもとに、より作用が強くより安全なものへと薬は進化し続けてきました。しかし、私たちにとって大切な薬は『両刃の剣』と言われる様に、有益な効能と同時に危険な副作用のあることを是非知って頂きたいと思います。

## 『お薬と上手につきあうために』

薬剤師 飯原 なおみ

薬をのんだら異常に眠くなった、という経験はありませんか。薬の説明書に記載されている、グレープフルーツジュースと一緒にのまないように、納豆は食べないように、などの注意事項について疑問に思ったことはありませんか。また、最近ではマスコミなどで薬に関する事故を目にすることも多くなり、薬に対して不安を抱いていませんか。

これらの疑問や不安は、薬の体の中でのゆくえや個人差など、ちょっとした薬の知識を理解することで解消し軽減します。講演では、薬の効き方の不思議について解説しながら、薬と上手につきあうためのコツについてご説明します。

## 『大衆薬、サプリメントとの付き合い方』

薬剤師 堀 美智子

大衆薬はあまり効かないから、多めにのんだほうがよい。クスリは副作用があつて怖いから、サプリメントで対応。どちらも正しい利用とは言えません。クスリは物プラス情報。何に効くのか、使用するときどんな注意が必要なのか。クスリはそんな情報にしたがって、正しく使用されたとき、クスリとしての役割を、果たすことができるのです。また、サプリメントは法的には食品です。クスリのような効果を期待することは決して正しい付き合い方とは言えません。そこで、皆さんの健康管理に役立てていただくために、大衆薬とサプリメントの使用と、その限界について薬剤師として知っていただきたいことを紹介します。

## すこやかに生きるために

— 知っておきたい薬の知識 —

## 第I部 講演

## 『くすりの歴史』

講師 篠原 幸雄 薬剤師

## 『お薬と上手につきあうために』

講師 飯原 なおみ 薬剤師

## 第II部 講演

## 『大衆薬、サプリメントとの付き合い方』

講師 堀 美智子 薬剤師

## \* 質問コーナー

## 『薬についての日ごろの疑問』

とき 平成22年7月3日(土)  
開場 午後1時 開演 午後1時30分～4時

ところ 観音寺市民会館大ホール  
(入場無料)

主催 / 社団法人 三豊・観音寺市医師会  
特別後援 / NHK高松放送局・四国新聞社  
後援 / 香川県医師会・香川県薬剤師会・観音寺三豊薬剤師会  
観音寺市・三豊市

## ごあいさつ

今年の講演会は、「薬の話」を薬剤師の三人の先生方をお願いすることになりました。

昨年度健康教育講演会のアンケート集計で、次の講演テーマとして希望の多かった「薬の話」を今年のテーマとしました。

医学が進歩し、薬が人類に健康と長寿をもたらしてくれたのは明らかです。しかし、多種多様となった薬の注意書きには、効能・効果よりも副作用欄のほうが大きな面積を占めています。薬剤師の役割が増え、医師は処方し薬剤師は調剤する医薬分業が定着してきました。薬剤師は薬の情報管理、調剤、服薬指導、副作用の監視などを通じ、患者さんの安全な医療を支えています。医師会主催の講演会ですが、「薬の話」は薬の専門家である薬剤師の先生方をお願いしようと考えました。

皆様お誘いあわせの上ご来場いただけますよう、心よりお待ちしております。

社団法人 三豊・観音寺市医師会

## プログラム

開会挨拶（午後 1 時 30 分） 池田博行（三豊・観音寺市医師会会長）

来賓挨拶

第 I 部 講演（午後 1 時 40 分～2 時 20 分）

「くすりの歴史」 講師 篠原幸雄先生（観音寺・三豊薬剤師会会長）

「お薬と上手につきあうために」

講師 飯原なおみ先生（徳島文理大学香川薬学部准教授）

司会 小野好彦（三豊・観音寺市医師会副会長）

※昨年のアンケートのまとめとお願い（約 5 分間）

休憩（午後 2 時 25 分～2 時 40 分）

第 II 部 講演（午後 2 時 40 分～3 時 25 分）

「大衆薬、サプリメントとの付き合い方」

講師 堀美智子先生（医療情報研究所/㈱エス・アイ・シー医療情報部責任者）

司会 池田博行（三豊・観音寺市医師会会長）

質問コーナー（午後 3 時 30 分～3 時 50 分）

「薬について日ごろの疑問」…質問用紙から

回答者 薬剤師（堀美智子先生、飯原なおみ先生、篠原幸雄先生）

内科医師（中津守人先生；三豊総合病院地域医療部部长）

司会 富田章一郎（三豊・観音寺市医師会副会長）

閉会謝辞（午後 3 時 50 分） 富田章一郎（三豊・観音寺市医師会副会長）

閉会（午後 4 時）

進行 新鞍誠（三豊・観音寺市医師会理事）

アナウンス 山田奈々（ボランティア）

要約筆記 NPO法人香川県要約筆記サークルゆうあい

## 講師 篠原幸雄 薬剤師 紹介



香川県薬剤師会副会長  
観音寺・三豊薬剤師会会長  
香川県学校薬剤師会会長  
ふじや薬局代表取締役・管理薬剤師  
徳島大学薬学部 大学院薬学研究科修士課程修了  
専門：薬物学（薬物の作用点）

調剤業務に携わるかたわら、学校における『薬物乱用防止教室』や『喫煙防止教室』を通じ、子供たちが興味本位で麻薬、覚せい剤、大麻など依存性薬物に手を出さないよう講演活動を続けている。

## 講師 飯原なおみ 薬剤師 紹介



香川県生まれ。東京理科大学薬学部卒業。博士（薬学）。香川県薬剤師会、厚生連屋島総合病院、香川医科大学（現 香川大学医学部）附属病院を経て、2005 年から徳島文理大学香川薬学部助（准）教授。2000 年に日本病院薬学会（現 日本医療薬学会）論文賞受賞。専門は医療薬学。IT を活用した、エビデンスの創出や電子処方せんネットワークシステムの開発、e-Learning 教材の開発に取り組む一方で、ヒトの効用（幸福・満足）や意思決定と薬物療法との関連性を解析。共著書に『薬剤疫学への招き－医薬品の開発と適正使用をめざして－（京都廣川書店）』『今を生きるための達人の教え（かんき出版）』などがある。

## 講師 堀美智子 薬剤師 紹介



医療情報研究所(株)エス・アイ・シー 取締役 医療情報部門責任者  
一般社団法人 日本薬業研修センター 医療情報研究所所長

名城大学薬学部薬学科卒業・同薬学専攻科修了。名城大学薬学部医療情報室・帝京大学薬学部医療情報室に 20 年勤務の後、1998 年に医療情報研究所(株)エス・アイ・シー設立に参加。八王子にアンテナショップとして開設した公園前薬局を運営しながら、OTC 薬販売サポートシステムのメディックナビなど各種データベースの作成や書籍作成に携わっている。1998～2002 日本薬剤師会常務理事を務めた。現在、ラジオ NIKKEI 第 1 毎週月曜日 17:15～17:30 【再放送】毎週木曜日 17:15～17:30 「健康ネットワーク」のパーソナリティーを務めている。近著として、「後発医薬品の上手な使い方ガイドブック」（じほう社、2008 年）、2009 年 10 月に発行した「患者のための疑義照会 Q & A」、「お薬手帳の実践的活用法」、「OTC 薬ガイドブック 第 2 版」（じほう社）などがある。